

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/03/18号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

昨年11月以来の高値、地政学リスクと需給評価

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台前半まで値上がりする展開になった。引き続き中東情勢が不安定化していることに加えて、ウクライナがロシアの複数の石油関連施設に対してドローンによる攻撃を行ったことが材料視された。また、国際エネルギー機関（IEA）が2024年の世界石油需要見通しを引き上げ、通年で「若干の供給不足」になる可能性を示したことも、投機筋の物色意欲を高めた。80ドルの節目を完全に上抜き、11月6日以来の高値を更新した。

IEAは2024年の世界石油需要見通しを前月から日量10万バレル引き上げ、前年比で130万バレル増とした。昨年の230万バレル増からは伸びが鈍化するが、紅海の輸送に混乱がみられる中、需要家の調達意欲が強くなったこと、船舶の輸送距離拡大などが需要を引き上げたとされている。また、石油輸出国機構（OPEC）プラスが自主減産を年末まで継続した場合に、2024年通期で従来想定されていた供給過剰ではなく、「若干の供給不足」になる可能性を指摘した。マクロ需給評価の改善が原油高に直結した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（3月8日時点）は、原油が前週比154万バレル減、ガソリンが566万バレル減、石油精製品が89万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

地政学リスクと需給見通し改善を受けて、底固い展開が続く

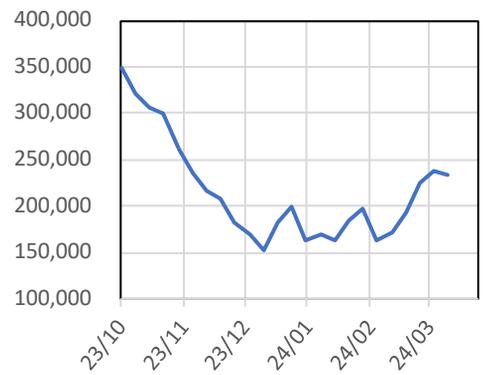
地政学リスクの高まりと需給見通しの改善を受けて、底固い展開が続く見通し。80ドル台に対する抵抗が薄れており、このまま80ドル台前半での取引時間を増やす展開なろう。ファンドの物色意欲も強くなっており、更に上値を切り上げることが可能か、慎重に試す展開が続く見通し。

引き続き地政学リスクに対する関心が高い。ハマスは新たな休戦案を提示したが、休戦合意が実現する見通しが立つと、70ドル台前半に向けて急反落する可能性がある。しかし、このままイスラエルのガザ地区に対する激しい攻撃が続くと、底固さが維持されよう。また、ウクライナがロシアに対してドローン攻撃を行ったが、更に石油関連施設に対する攻撃が続くと、急伸する可能性もある。中東とロシア情勢を巡る動向に注意が求められる。

また、前週に大きく変わったのはマクロ需給環境に対する評価が改善したことだ。世界経済の減速で根強い需要不安があるものの、石油需要に関しては想定外の下振れといった動きは確認できない。国際エネルギー機関（IEA）は石油需要見通しを引き上げ、石油輸出国機構（OPEC）は数値の修正こそしなかったが輸送、産業、建設、農業、石油化学など広範囲にわたる需要の底固さを報告している。先行き不透明感が強い状況に変化は見られないが、OPECプラスが自主減産の4～6月期への延長を決めたこともあり、下値不安は後退している。

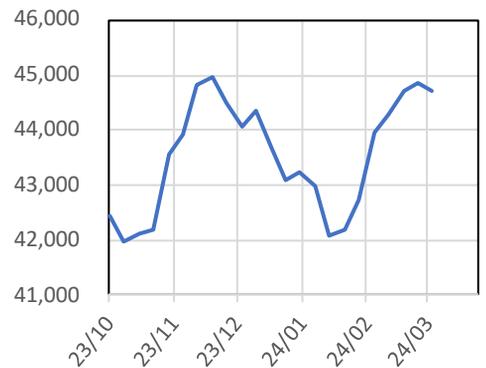
3月19～20日には米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催される。米金融政策見通しの不確実性が高まる中、ドルや株価が大きく動く可能性にも注意が求められる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



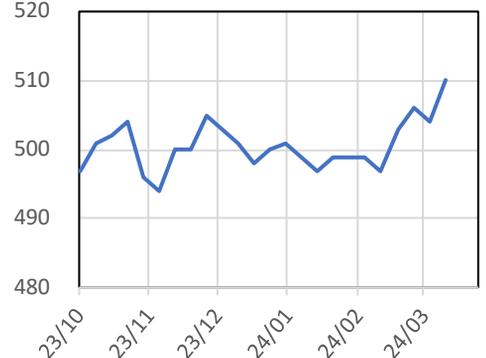
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

